

伊賀上野施設別観光客入込数

単位：人

施設名	28年	29年	30年
上野城	109,076	105,004	91,310
忍者博物館	197,206	191,429	181,929
伊賀越資料館	2,131	1,617	1,291
伊賀信楽古陶館	642	555	489
だんじり会館	26,668	26,469	23,039
芭蕉翁生家	6,754	5,975	883
蓑虫庵	5,108	4,966	3,203
芭蕉翁記念館	12,550	12,719	13,512
旧小田小学校	2,315	2,461	2,167
旧崇廣堂	8,794	13,833	11,318
入交家住宅	3,497	3,367	3,510
城之越遺跡	3,018	724	713
上野天神秋祭	56,000	18,000	179,000
伊賀くみひもセンター	12,510	15,195	19,287
忍者フェスタ	40,000	36,000	32,000
芭蕉祭	500	500	500
ヒルホテルサンピア伊賀	170,434	174,704	180,183
合計	657,203	613,518	744,334

出典：伊賀市産業振興部観光戦略課

注：芭蕉翁生家は平成30年4月より工事の為に入館禁止

伊賀上野の観光施設の入込数は、全体的に毎年減少傾向にある。

忍者に関する観光施設は全国的に増加しており、近隣地域では中部国際空港セントレアの「サムライNINJA空港」京都の「伊賀流忍者道場」などの有名施設があるため、忍者を求める観光客は分散し、都会に集中していると考えられる。

一方で、芭蕉翁記念館の入込数は微増傾向にある。現在修復工事中の芭蕉翁生家が完成すれば、「芭蕉」という観光資源の更なる活用が期待される。

近年映画で注目されたくみひもの体験が出来る「伊賀くみひもセンター」の入込数も増加しており、こちらも若年層を中心とした観光客を呼び込む伊賀の観光コンテンツとして期待できると言える。

伊賀流忍者博物館の入込数は、平成28年で197,206人、平成29年で191,429人、平成30年で181,929人と減少傾向にあるものの、うち外国人観光客数は27037人（13.7%）、24,706人（12.9%）、31,093人（17.1%）と増加傾向にある。（出典：一般社団法人伊賀上野観光協会）

近年では特にタイ・中国を中心としたアジアからの観光客が増え、団体旅行が主流であったが、FITの割合も増加している。上野城や忍者博物館といった有名施設だけではなく、街中観光に来る外国人の増加も望まれるため、街中の看板等の外国語表記、インバウンドのおもてなし対応などが今後の観光の課題となるだろう。